

徹底解明！〈総聯全体大会 Q&A〉

Q 全体大会とは？

A 総聯全体大会は、4年に1度行われる朝鮮総聯の最高決議機関であり、中央委員会が召集する。大会は代議員、中央委員、中央監査委員によって構成される。大会では、基本方針の樹立、重要事業の議決、会計報告および予算案の審議・決定、役員を選出などが行われ1955年の結成大会から今大会まで25回開かれている。

Q どのような人たちが代議員を務めたのか？

A 代議員は北海道から九州にいたる総聯の各組織から選出される。今大会に参加した代議員の比率をみると女性同盟が16.5%と一番大きなシェアを占める。次に総聯支部(14.1%)、総聯分会(11%)、商工会(10.8%)と続く。その他各階層を代表する同胞が網羅されている。福島県からは12名が参加した。

Q 今大会の特徴は？

A 金日成主席生誕110周年、金正日総書記生誕80周年を迎える民族史的大慶事の年である歴史的な年に開かれた総聯第25回全体大会は、在日朝鮮人運動発展の新しい里程標を立てる一心団結の大会、継承と革新の大会となった。金正恩総書記は本大会参加者に書簡「各階層の同胞大衆の無限の力によって総聯隆盛の新時代を切り開いていこう」を送り、総聯隆盛の新時代をさらに力強く切り開くことに関する総体的方向と課題、その遂行方途を全面的に明らかにした。

Q 第25期の主要課題は？

A 総聯第25期活動で示された主要課題は、次の6つの項目だ。

① 宣伝教養活動において形式主義を根絶して、愛族愛国運動を力強く行う、② 各級組織の機能と役割をいっそう向上し、同胞たちが住むすべての地域に基層組織をもれなく整える、③ 同胞青年たちを頼もしい継承者、交代者に育てることに大きな力を入れる、④ 同胞第一主義を徹底的に貫徹して同胞らの権益を擁護し、同胞らの生活便宜を図るための活動を全組織的に繰り広げる、⑤ 民族教育を強化・発展させ、在日同胞の中で民族性を守るための活動に総力をあげる、⑥ 祖国の統一と社会主義強国建設に特色ある貢献を行い、対外活動を活発に繰り広げる。

24期に比べると、25期は課題が5項目から6項目に増え、同胞青年たちへの言及が4番目から3番目になっている。次世代に対する期待と信頼をくみ取ることができそうだ。

6/8	9	10	11	12	13	14
水	木	金	土	日	月	火
	チヨチヨンウリ マル教室		女性同盟中央 第31回大会			総聯本部第2 5回大会・支 部定期大会